

ふうしゅてんけい

風趣点景

管内四季だより⑮



「千葉家と水車」

遠野市綾織町(千葉家)

写真・文/高沢 翔(西和賀町沢内)

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://shou.eek.jp>

撮影データ(デジタルカメラ) 2016年5月下旬
ISO感度:200 絞り:f16 露出補正:0.0

南部曲り家で知られる千葉家。平成二十八年四月から大修理のため現在は休館中です。私が訪れた時は人影もなく寂しい限りでしたが、道をひとつ隔てた向かいからの眺めは感動的でした。昔懐かしい水車が手前にあり、千葉家と一体となって溶けこんでいる。何という素晴らしい情景でしょう。この情景を日々見て暮らしたであろう昔の人々に思いを馳せながら、シャッターを切りました。

春の若苗、夏の青田、秋の黄金色。幼き頃から常に見てきた田んぼだ。日常に紛れているこの風景を改めて美しいと感じた、ある日の朝。私は田んぼに向けてカメラを構えていた。苗が太陽にキラキラと輝く。その美しさに思わず息を呑む。そして朝日に願う。このかけがえのない風景をいつまでも。「佐藤」

暖かいを通り越して暑いが続く日々。ぼらーの広場に寄せられた夏バテ対策をちよっぴりフライングで試した。試してみても改めよう。広報誌は自分たちだけで作るものではない。取材先の人々の思いや読み手の皆様の感想で出来ている。みんなの思いを詰め込んだ広報誌を作りたいたと、改めて思った。「小原」

広報活動は、地域に散らばっている無数の点を繋ぎ、面を作る。でも現実に変化を起こせなければ、それはただの自己満足。高橋専太郎前組合長は常に未来を見据え、百姓の代表だ！と訴えながら、施策を実行し改革し続けた。私もあの情熱と偉大な背中を見てきた一人だ。農協人として明日をより良く変える為の今を創る使命がある。「大内」



編集後記

From Editor's

